

# 北大小児科 第126回特別集談会

2021年1月13日(水)



『子どもの乗り越える力を信じて支援する  
一点滴は泣いて当たり前？

子どものものさしと大人のものさしー』

北海道大学病院

子ども療養支援士 依田 悠子

子どもには苦難を乗り越える力が備わっているといわれていますが、病院にくるとたくさんの初めての経験をする必要があります。初めて出会うひとや場所、初めてみる検査の機械や物品、初めて聞く言葉、時には初めて見る親の涙など。こうした初めての経験を乗り越えるためには子どもにもこころの準備が必要であり、そのためには成長発達にあった情報提供や親をはじめとしたサポートする大人が必要です。では、成長発達にあった情報提供とはどのようなものでしょうか。どのようなサポートが求められているのでしょうか。大人が当たり前と考えていることも子どもにとっては当たり前ではないこともあります。子どもが現状を年齢相当に理解し、乗り越えていく力を発揮できるように遊びを活用したサポートについてお話をさせていただけたらと思っております。

18:00～19:00

Web(Cisco Webex)にて開催いたします



お問合せ・連絡先 小児科医局 (内5954)

